

第6回 藤沢市立学校通学区見直し【南部】ワークショップ
開催結果について

- ・開催日時:2026年2月6日(金)10時30分~12時30分
- ・開催場所:藤沢市民会館 第1展示集会ホール
- ・ファシリテーター:徳田 太郎氏(NPO 法人日本ファシリテーション協会 フェロー)
- ・ワークショップ参加者:32人 見学者:2人
運営スタッフ:10人 合計44人

○当日配付資料

- ・別添のとおり

議事要旨

1. 開会

ファシリテーターから、これまでの経緯及び今日の進め方について説明を行い、各グループに事務局が記録サポーターとして加わることの説明を行った後、各グループで自己紹介を行った。

2. 第5回南部ワークショップでの意見及び今回提示する学区案について

事務局から、図面の取扱いについての注意事項の説明後、資料に基づき、前回のワークショップで提示した見直し案に対して出された意見及びそれに対する事務局の見解について説明を行った。

また、結果として今回提示する見直し案については前回のワークショップで提示したものと同一のものであり、見直し案については一応の理解が得られているとの認識から、ワークショップの開催については今回で最後とすることを予定している旨説明を行った。

○事務局の説明内容、見直し案について、各グループで話し合いを行った。

【質疑応答等】

(質問)

片瀬小学校と新林小学校の現在の人数、変更後に予想される人数を教えてください。

(回答)

(人数を確認後に改めて回答)

昨年5月1日の時点で片瀬小学校は763人で25学級、新林小学校は723人で24学級であり、現状のままだと片瀬小学校については今後減少していく見込みで、6~7年後くらいには600人台前半になることを見込んでいる。新林小学校については、6年

後には880人くらいになっている見込みである。事務局案どおりに見直した場合、2040年の時点で、片瀬小学校541人、新林小学校は894人となることを見込んでいる。

(意見)

「マンションが建設されているところもあり、片瀬小学校の人数が実感としてよくわからなかったので質問した。」

(意見)

⑭鵜沼小学校→片瀬小学校の所は川がある。災害時に川が渡れなくなる場合があるが、片瀬小学校の児童数が増えた場合の対応や、その他の災害時の対応を考えてほしい。

(回答)

意見として了解した。

(質問)

⑭鵜沼小学校→片瀬小学校の所で、現在片瀬小学校へ通学していて今春に中学生になる子どもがいる。片瀬小学校なので片瀬中学校に行かせてほしいと相談したところ、鵜沼中学校に行ってくださいと言われた。2年後に学区が変わるのであれば中学校も連動してほしい。友達と切り離されてしまうし鵜沼中学校は遠い。鵜沼松が岡も慣例学区で湘洋中学校の学区だが鵜沼中学校に行っている子が8割以上いる。湘洋中学校は遠く津波にあう可能性もある。中学校に関して慣例学区が無くなり、小学校と連動していくのはいつになるか。

(回答)

小学校は令和10年度に新たに入学する児童から新たな学区とし、在校生については卒業まで在学している学校にいて良いということを考えている。中学校は小学校の学区が変わることで影響を受けないようにするため、中学校と協議を始めたところ。令和10年度に新たに小学校に入学した児童が中学校に入学する令和16年度から変えたいと思っている。小学校区が変更になるところについては、中学校区も変更した方がよいのではないかと提案をしている。

ここ2年ほど行っている、鵜沼小学校区の児童が片瀬小学校を選択することができ、この制度を利用した児童については、中学校についても片瀬中学校を選択することができるよう考慮している。

(質問)

鵜沼中学校、辻堂小学校が4月から建て替え工事が始まるのは知っている。鵜沼小学校、片瀬小学校の建て替えも2年先に行うと聞いている。今仮設校舎が設置されているが、教室数は増やす予定はあるのか。

(回答)

工事内容についてなので詳しくわからないが、教室数については補助金の関係で余り増やせないと聞いている。鵜洋小学校の話がどこまで進んでいるのか分からない。片瀬小学校についてはまだ話があまり進んでいないのではないかと思う。

○今回事務局で提示した案を、南部ワークショップにおける最終案とすることとなった。

3. 新たな通学区域の周知方法について

事務局から資料に沿って説明を行った。

○各グループで素案段階と決定後の周知方法について話し合いを行った。

グループで出た意見を A4 の用紙に記入した。各グループの意見は別添のとおり。

・各グループの意見の確認のため、それぞれが各グループを回った。

【質疑応答等】

なし

4. その他

【質疑応答等】

(意見)

学区が変わると地区レクや防災のエリアがずれてくると思う。防災については、災害時のことなので、外のエリアの人であっても受け入れるなどおおらかに見てほしい。防災訓練ではエリアが決まっていると思うが、市域で考えてほしい。自治会中心で行っている地区レクについても、通っている学校のこともあるし、社体協でのすり合わせが必要になるかもしれないが。子どもや住民のつながり作りの場であるため、嫌な思いをすることがないようにしてほしい。

(回答)

担当部局と共有調整を行っていききたい。

○各グループで感想を出し合った。

※南部ワークショップは今回で終了することとなった。

以上